



キッズだより

令和5年10月 第19号
たかといちどいキッズ



♪ どんどんばしわたれ さあ わたれ

こんこがでるぞ さあ わたれ ♪

今月のわらべうたは、「どんどんばしわたれ」です。どんどん歩いて橋を渡るという意味です。この遊びは、橋（平均台）の上を歩いたり友だちと一緒に歩いたりする時によくうたいます。「こんこ」というのは昔の言葉できつねのことをいいます。リズムよくうたって歩くのが楽しくなるわらべうたです。橋やパフクッションを並べて、でこぼこ道を歩いたり、保育士や友だちと手を繋いで歩いたりして楽しんでいます。散歩中に歩きたくなかった時でも、うたうと歩き出すことがあります。子どもと手を繋いで歩いている時に、うたってみてはいかがでしょうか？



先月子どもたちが、ぶどうやコスモスやとんぼを描いたハガキを敬老の日に送りました。祖父母のみなさんが喜んでいたという話を聞いて嬉しく思いました。今のこの時代、テレビ電話やメールでのやりとりが日常化される中で、手作りハガキというのは、温かみがあることだと思います。2歳児は、往復はがきで送り、子どもたちに返事が届くようにしました。子どもの顔と赤とんぼが描かれていたり子どもの好きな恐竜が描かれていたり、いろいろ考えてくださっていました。子どもたちも「おじいちゃんおばあちゃんからとどいた」と満面の笑みで見せてくれました。これから心を入れて何かを作るということを子どもたちと一緒に続けていきたいなと思います。

8日には、キッズが開園してから初めての親子ふれあいデーを開催する予定です。（新型コロナウイルス感染症のため実施できず）普段子どもが楽しんでいるふれあい遊びや体を動かす遊びを親子でします。そしてグループにちなんだ果物を見つけに行きます。一緒に体を動かして楽しいひと時になるよう準備を進めています。

北坂 美知子

10月の予定

親子ふれあいデー	8日(日)	誕生会	11日(水)
避難訓練	18日(水)	救急訓練	24日(火)
発育測定	26日(木)		





あさひ・ひかりぐみ



巧技台やすべり台、マットの山などを組み合わせ、のびのびと身体を動かせるようにしました。「こっちだよ、おいで」と呼んだり、子どもの目の前で興味のある玩具を振ったりすると、嬉しそうにハイハイで移動したり、全身を使って段差をよじ登ったりして楽しんでいました。「登れたの、すごいね」「自分でできて嬉しいね」と一緒に喜ぶと、満足そうににっこりと笑っています。引き続き、子どもたちの動きに合わせて巧技台などを組み合わせ、身体を動かすことを楽しめるようにしていきます。

園での食事にも慣れ、手づかみやスプーンで食べようとしています。その姿を認め、声をかけながら手を添えて援助し、自分で食べる喜びを感じられるようにします。



登れた！！

ちょっと休憩



よいしょ
よいしょ



今月のねらい：自分で食べることを喜び



ひかりぐみ



衣服の着脱に興味をもちはじめ、自分の着替えや靴、靴下を持ってきて嬉しそうにしています。保育士がズボンを広げて置き、「足はどこかな？」「ここに足を入れようね」など声をかけると自分でズボンを穿こうとします。「自分で」という思いも出てきて、声をかけられなくてもしようとする姿も増えてきました。お尻までズボンを上げ「上手に穿けたね」と声をかけられ得意気になっている子どもたちです。引き続き、自分でしようとする姿を十分に認め、傍で見守りながらさりげなく援助していきます。

体を動かすことが好きで、走ったり巧技台や斜面の上り下りをしたりして嬉しそうにしています。保育士も一緒に体を動かしながら、走る、ジャンプする、くぐるなど全身を使った遊びを楽しめるようにしたいと思います。



足を入れて



みてみて



今月のねらい：保育士と一緒に全身を使った遊びを楽しむ



ひかり・どろぐみ



散歩に出掛けると、生き物を探したり、追いかけてっこをしたりして自然に触れながらのびのびと体を動かしていました。『地面の下の生き物』という絵本が大好きな子どもたち。アリを見つけると、「アリさんのおうちあるかな？」「もぐらさんとあそんでいるかな？」などと話し、探索活動を楽しんでいました。今後も、過ごしやすい日は散歩に出掛け、保育士や友だちとやりとりしながら、生き物や草花に触れる楽しさを感じられるようにしていきます。

戸外から帰ってきた際や食事前など、自分から進んで手を洗おうとしています。その姿を十分に認めながら保育士も一緒に手を洗い、指の間や手首も綺麗に洗えるように援助していきます。



まてまて～



みっけ！

今月のねらい：綺麗に手を洗おうとする



ごっこ遊び



手の洗い方を繰り返し伝えたり、見せたりすることで、自分で手を洗えるようになってきた子どもたち。見守りながら「次はどこを洗うかな？」と声を掛けると、手の洗い方のイラストを確認し、「つぎは、ゆびのあいだかな？」「つめもする」と洗っています。手が汚れていると、「ここよごれているから、てあらってくる」と言い自分で気づいて洗いに行こうとしています。今後も洗い方を伝えたり、認める声を掛けたりすることで、自分で綺麗に洗えた喜びが感じられるようにしていきます。

友だちと一緒に赤ちゃん人形の世話をしたり、バスごっこをしたりなど友だちと関わって遊ぶ姿が増えてきました。保育士が仲立ちすることでイメージを共有し一緒にごっこ遊びを楽しめるようにしていきます。



てくびもゴシゴシ



つぎはどうか？



これを見て洗っています

今月のねらい：保育士や友だちと一緒にごっこ遊びを楽しむ



《 家族でキャンプデビューしてみませんか？ 》

》



兵庫県にはたくさんのキャンプ場があるのをご存知ですか？日本海側から淡路島まで近隣の県に比べてだんとう多くのキャンプ場が点在しています。我が家は子どもの友だち家族に誘ってもらって、3家族でキャビンに宿泊したのが初キャンプでした。次はテントに泊まろうと約束し、早速テントを購入しました。それから少しずつキャンプ用品を買い足しながら、年に1～3回毎年キャンプに行くのが我が家の恒例になり、キャンプ歴は7年になります。

犬を飼い始めてからはペット OK の所や、ドッグラン付きサイトに愛犬も連れて行ってキャンプするようになりました。最近はファミリー向けの新しいキャンプ場が増えていて、川や遊具などの遊び場があったり、トイレも虫が入らないようにきれいに整備されていたりする所が多いです。

今年の夏は神鍋高原キャンプ場に行きました。広々とした柵付きドッグランサイトを予約し、満天の星空を見て大人も感動し、ハンモックに揺られながら星座を探したり、焚き火の炎をぼーっと眺めたり、非日常的な夜も堪能できました。

キャンプの良いところは自然の中で解放された気分を味わえることです。火をおこしてキャンプ飯を食べたり、テントで眠ったりすることも子どもにとって楽しい経験になります。家とは違った家族団らんは、親にとっても気分転換になりかけがえのない時間になります。まだ子どもの年齢が小さいとテント泊は敷居が高いと思うので、キャビンやコテージでのキャンプから始めてみて、周りのキャンパーさんのテントを参考にしてから、ゆくゆくはテントデビューするのもいいと思います。思春期真っ只中の中学生の娘たちですがキャンプはいつも楽しみにしてくれています。この家族でのキャンプのひとときをもう少し味わいたいと思っています。 民安 暁子

